



# さがま友

No.105

2025.8

Kamogawa  
SEAWORLD



## 鴨川シーワールドの魚類繁殖の取り組み 11年目のコーラルメッセージ

トロピカルアイランド内に、2014年3月にリニューアルした「サンゴ礁の願いCoral Message」（以下、コーラルメッセージ）では、リニューアルを機に水族館生まれの魚の展示種数を増やすことを目指し、繁殖に取り組んできました。現在、中央のサンゴ水そうを取り囲む5基の円柱型水そうと2基の角型水そうに、カクレクマノミをはじめとした水族館生まれの魚を展示しています。それらの中には、公益社団法人日本動物園水族館協会からの受賞実績もあります。今回は2014年のリニューアル後からこれまでの繁殖と育成の取り組みについて紹介します。

### クマノミ類は入門魚

展示している飼育下での繁殖種としてはクマノミ類が大部分を占めています。中でもカクレクマノミは人気の高い種で、このコーラルメッセージのシンボルとして常時約300尾のカクレクマノミを展示しています。2023年には当館では28年ぶりとなるクマノミの繁殖に成功し、日本に生息するクマノミの仲間6種類すべてをコーラルメッセージで展示で

きました。繁殖個体で展示を続けることは大変ですが、卵が大きいため若手の飼育係の繁殖入門種となっています。



▲ カクレクマノミ 卵を守る親

### 38年ぶりの快挙、 オイランヨウジとコブダイ

2015年にはオイランヨウジとコブダイの国内初繁殖に成功し、2016年度「繁殖賞」を2種で同時に受賞しました。鴨川シーワールドで魚類の繁殖賞受賞は1973年に成功したハマクマノミ、1977年に成功したイバラタツ以来38年ぶりとなりました。オイランヨウジは静岡県以南の岩場やサンゴ礁でみられるヨウジウオの仲間です。本種のメスはオスの腹部に卵を産み付け、オスは卵がふ化するまで

守ります。ふ化直前でオスを育成用の水そうへ移動し、ふ化後はオスを展示水そうへ戻し子どもの育成をしました。コブダイは日本沿岸の岩礁域に生息するベラの仲間です。エコアクアローム「入江の岩場」で産卵行動が見られたため卵を回収したところ、約6000卵回収したうちのわずか数十卵が受精していてそこからふ化した子どもを育成しました。



▲ オイランヨウジの子ども（22日齢）



▲ コブダイの子ども（309日齢）



▲ 角型水そう

### 繁殖賞と初繁殖認定

ここで本文中に出てくる「繁殖賞」と「初繁殖認定」の説明をしておきます。公益社団法人日本動物園水族館協会では、加盟園館における飼育生物の繁殖が、日本で初めての成功例と認められた場合に、その功績を「繁殖賞」として表彰してきました。1956年に制定され、2019年の規程改変にともない「初繁殖認定」と名称を変更しています。鴨川シーワールドでは、1973年にハマクマノミで初めての「繁殖賞」を受賞しました。



▲ 「繁殖賞」のメダルと「初繁殖認定証」の展示

| 繁殖年月日     | 受賞年度   | 種名             |
|-----------|--------|----------------|
| 1973.6.14 | 1976年度 | ハマクマノミ         |
| 1977.5.11 | 1980年度 | イバラタツ          |
| 1981.8.31 | 1982年度 | オーストラリアアシカ     |
| 1994.6.6  | 1995年度 | セイウチ           |
| 1998.1.11 | 1999年度 | シャチ            |
| 2003.4.25 | 2004年度 | カスピカイアザラシ（人工）  |
| 2003.7.17 | 2004年度 | バンドウイルカ（人工授精）  |
| 2015.3.10 | 2016年度 | オイランヨウジ        |
| 2015.5.16 | 2016年度 | コブダイ           |
| 2018.7.23 | 2020年度 | サンギルイシモチ       |
| 2018.9.8  | 2020年度 | オウサマペンギン（人工授精） |
| 2019.5.29 | 2020年度 | カマイルカ（人工授精）    |
| 2024.5.5  | 申請中    | ヒメツバメウオ        |

▲ 表：鴨川シーワールドで繁殖賞と初繁殖認定を受賞した動物

### サンギルイシモチ

サンギルイシモチは鹿児島県以南のサンゴ礁の内湾で群れをつくり生活するテンジクダイの仲間です。この仲間は、メスが産卵した卵のかたまりをオスが口にくわえてふ化

するまで守る、口内保育をおこなうことが知られています。2018年7月に裏方の水そうで飼育していた個体を展示水そうへ移す際、卵を吐き出したため、回収して管理を続けたところ、ふ化・育成に成功しました。2019年5月にはこの育成個体が初めて口内保育をしていることが確認でき、2世代目の繁殖育成にも成功し、この成果に対して2020年度の「初繁殖認定」を受賞しました。



▲ サンギルイシモチの子ども（262日齢）

### ヒメツバメウオ

ヒメツバメウオは、沖縄県以南のサンゴ礁内湾の海水域や汽水域、純淡水域に幅広く生息する魚です。2024年5月初旬の夕方に「エメラルドの入江」で水そう内の魚が何かを食べていたので注意深く観察すると、それは浮遊する卵でした。回収して経過を観察したところ、翌々日にふ化した子どもが確認できました。育成作業のかたわらで、水そうにいる魚の中で産卵しそうな種を調べたところ、ヒメツバメウオが候補にあがりました。ヒメツバメウオの繁殖に関する資料が乏しかったため、これまでの経験から手探りで育成を続けると同時に、親魚の産卵周期や産卵行動も調査しました。2024年10月に5cmほどまで成長した子どもを角型水そうで展示しました。この成果は2025年度の「初繁殖認定」に申請中です。



▲ ヒメツバメウオの子ども（138日齢）

### クロウミウマ

クロウミウマは、太平洋やインド洋の沿岸域に生息するタツノオトシゴの仲間です。この仲間はメスがオスの「育児のう」という袋状の器官の中に産卵し、卵を育てることが知られています。2024年7月に搬入したクロウミウマがペアだったようで、搬入後10日ほど経ったある日、飼育している水そう内に数尾の子どもが遊泳していました。発見が遅かったのか回収できた子どもは25尾と少なかったのですが、その後も2週間ほどの間隔で産出が続き、多い時には1000尾ほどの子どもを産出しました。これまで、クロウミウマの繁殖経験がなかったので、資料をもとに水そうの形状や水替えの仕方、エサの種類を検討しながら育成し、2025年2月に角型水そうで展示ができました。



▲ クロウミウマの子ども（2025年3月3日撮影）

### おわりに

「コーラルメッセージ」ではこれまでに、15種類の繁殖生物を展示してきました。水族館内ではまだまだ多くの生物が産卵したり、子どもを産んだりしていますが、私たち飼育員の育成技術が伴わず展示まで至らない種類も多くいます。少しずつ知識や技術を蓄え繁殖育成のできる種類を増やしていくことで、自然からの採集に頼らず展示を維持し、多くのお客様に生物の魅力を発信できる施設にしていきたいと考えています。

魚類展示課 引馬 由恵  
Yoshie Hikuma



▲ 開業55周年ロゴ



▲ 館内の55周年記念営業バナー



▲ 55周年記念御朱印



▲ 55周年記念プレート



▲ ディスカバリーガイダンス参加証明書  
(55周年記念デザイン)

## 鴨川シーワールドが開業55周年をむかえます

鴨川シーワールドは雄大な太平洋を臨む鴨川で1970年に開業し、生命の大切さとふれあいの素晴らしさを伝えてきました。海と人とをつなぐ施設として、沢山のお客様と関係者の皆様に支えられ 2025年の10月1日に開業55周年をむかえます。これもひとえに日頃から応援して下さる多くのお客様のあたたかいご支援と、関係者の皆様のご理解とご協力の賜物と心より感謝申し上げます。鴨川シーワールドが50周年をむかえた2020年は、新型コロナウィルス感染症（COVID-19）が世界的に蔓延しており、全館休館や各種イベントの中止など、なかなか50周年をお祝いすることができなかったのを覚えています。あっという間に5年がたち開業55周年がむかえられ、周年企画の提案者として程よいプレッシャーを感じながら、様々な企画やイベントに携わることができ

ても充実しています。鴨川シーワールドは日本で初めてシャチやベルーガの飼育に挑戦した水族館であり、動物種ごとの特性を表現したパフォーマンスは今も多くのお客様に愛されています。先人達や飼育員、館内で努力するキャストに対しては、同じ組織に所属する立場でも、来館されるお客様と変わらない敬意を抱きます。広報活動の部署に在籍して以来、飼育員の活動を通して動物たちから貰った学びや喜び、感動の数は両手ではとても足りません。ここで得た感動をどうしたらお客様へと繋いでいけるのか、動物と飼育員が紡いできた当館の魅力を一人でも多くのお客様に体感してもらいたい、そういった沢山のキャストの想いが形になったのが鴨川シーワールドの55周年営業です。こうして始まった「55th Anniversary Year」では、Dream Amiさんが当館のために作詞した

「KIRAKIRA DAYS」が新テーマソングとしてメインゲートを彩っています。周年を記念して制作されたシャチモチーフのロゴには、「動物たちがいつまでも健康に」そして「ダイナミックな感動をお届けできるように」という願いが込められており、周年ロゴをあしらったグッズは館内が盛り上がる夏の時期を目途に沢山の種類を提供できる予定です。ゲスト、キャストを問わず「好きな水族館」をお祝いができることが当事者の一人としてとても嬉しいです。これからも私達は、お客様に海の素晴らしさを伝え続けます。そして、先人達が残してくれたように未来の世代に生命の輝く場所を残していけたらと考えています。55周年も次の周年も皆様のご来館をお待ちしております。

マーケティング課 渡邊 剛志  
Takeshi Watanabe



▲ 左から「ルティ」、「ティア」、「フィン」、「ティアナ」

## 2頭のカマイルカの成長

サーフスタジアムでは現在12頭のカマイルカが暮らしています。このうち4頭のオスがパフォーマンスで活躍し、残る1歳から推定45歳の8頭がショープール左側のプールで繁殖群を構成しています。今回はこの中の2頭の赤ちゃんイルカの飼育経過をご紹介します。オスの「フィン」は2024年8月8日、9時間を超える難産で生まれ、一方の「ルティ」（メス）は8月23日に1時間ほどの安産で生まれました。2頭とも授乳の回数が過去の記録と比べて少なく太りがみられなかったため、フィンには生後2日目から、ルティには生後3日目から人工哺乳を始めました。フィンは5日間哺乳を補うとその後は母親からの哺乳だけで安定して体重が増加しましたが、ルティの授乳行動は好転せず、エサの魚を食べ始めた75日齢まで人工哺乳が続きました。その後はロッキーワールド「イルカの海」で安定した

成育が続き、生後約6カ月をむかえた2025年2月に、プールの改修工事のため群れごとサーフスタジアムへ移動することになりました。イルカの移動方法は、担架に動物を収めてトラックなどで移動先のプールまで運びます。プール(水中)から取り上げることで自らの体重が体にかかるため、慎重におこなわないとショックを起こしてしまう恐れがあります。2頭は人工哺乳をおこなっていた期間、ほぼ毎日係員に抱きかかえられて体重を計測していたので、身体にかかるストレスは心配していませんでしたが、精神的な影響への配慮として、親子をトラックの荷台に並べて載せて互いが見えるようにして、ゆっくり慎重に運転して移動しました。群で移動したためか、新しい環境にはすぐに慣れてくれたので、移動前から始めていた、係員の前で顔を上げて待機するトレーニングを再開すること

にしました。好奇心旺盛なフィンは、母親の様子をまねたのか、ある日突然、顔を上げてエサを食べるようになりましたが、少し臆病なルティはほかのイルカを気にすることが多く少し時間を要しました。7月初旬の時点でそれぞれ1日に4.5kgのエサの魚を与えていて、フィンは体長170cm、体重59.5kg、ルティは161cm、52.5kgまで成長しました。さかまたNo.102でも紹介しましたが、この2頭の母親も母子関係にあり、ルティは国内初の3世のカマイルカで、フィンはルティのおじにあたります。さらに同じプールには2頭と母親違いの兄もいて、一緒になって追いかっこをしたり、年上のイルカにちょっかいを出したりと、活発に遊びながら社会性も学んでいます。これからも2頭の成長を楽しみにして下さい。

海獣展示二課 真々部 紗恵子  
Saeko Mamabe

## 鴨川市「二十歳の集い」開催

1月12日に鴨川市「二十歳（はたち）の集い」（旧名称：鴨川市成人式）をおこないました。2004年に始まり今回で21回目となる式典に、今年度20歳となる257名のうち161名の若者たちが出席し、「前進あるのみ〜Kamogawaから世界へ〜」のスローガンのもとで夢や目標を誓い、人生の節目を祝いました。鴨川シーワールドからは『笑うアシカ』として人気の「カンジ」（カリフォルニアアシカオス・24歳）が「祝福の笑顔」をプレゼントし、晴れ着姿の若者たちと記念撮影をおこない、思い出のひとつを笑顔で飾ることができました。

マーケティング課 根岸 祐実  
Yumi Negishi



## 2025年度鴨川シーワールド入社式

前日までの雨も上がり爽やかな青空となった4月4日に、2025年度鴨川シーワールド入社式「シャチからの祝福」を実施しました。新入社員を歓迎し、施設の魅力を実際に体験してもらおうとおこなっている鴨川シーワールドならではの入社式は、今回で8回目となりました。今年も元気いっぱいの掛け声に続き、シャチ「ララ」（体長5.5m、体重2.4t）から祝福の「テールバースト」が2回プレゼントされました。巨大な尾ビレから放たれる豪快な水しぶきを浴びた新入社員からは歓声が上がり、笑顔で社会人としての第一歩を踏み出しました。

マーケティング課 三橋 有香  
Yuka Mitsuhashi



## 絵画展「みんなの鴨川シーワールド」

市政制定を記念して毎年2月11日に開催している「鴨川市民DAY」の特別イベントとして、「みんなの鴨川シーワールド」と題した絵画展を初めて開催しました。市内の認定こども園7園に通う5歳児の皆さんに協力してもらい、鴨川シーワールドをテーマにした絵を描いてもらいました。普段から遠足や家族で足を運んでくれている子供たちの絵は、シャチやペンギンなどの特徴をよくとらえていて、観覧されたお客様を楽しませてくれました。全167作品の中から選出された2作品の表彰式も実施しました。今後も地域と連携して、楽しく学ぶ文化活動に協力していきます。

マーケティング課 古賀 壮太郎  
Sotaro Koga



## 「飼育の日」特別レクチャー開催

4月19日は数字の並びが「しいく」と読めることから、2009年に公益社団法人日本動物園水族館協会により「飼育の日」と制定されました。飼育係の仕事内容を通して動物園・水族館への理解を深め、動物への関心を高めてもらうことを目的としたもので、毎年日本各地の加盟園館で様々なイベントが開催されています。今年、当館では4月19日（土）、20日（日）の2日間、クラゲの生態から水族館での飼育について紹介する特別レクチャー「クラゲの飼育」を開催しました。聴講くださったお客様からは「クラゲの魅力を知ることができました」などの声をいただきました。

開発展示課 高倉 敦子  
Atsuko Takakura



▲ 13歳になった「ルーナ」（2025年7月時点）

私のイチオシはメスのシャチ「ルーナ」です。

「ルーナ」は、2008年に入社してシャチ担当となった私が「新人だけど少しは分かってきた」頃の2012年に父親「オスカー」母親「ラビー」との間に生まれました。

初期の訓練を進め、少しずつできることが増えてきた1歳頃、ルーナと一緒にパフォーマンスに出場する機会がやってきました。緊張の瞬間でしたが、ルーナは私とのパフォーマンスが「つまらない」と感じ、あっさりと他のシャチや興味のあるものの方へと遊びに行ってしまうしました。その後も苦労の連続で、どうすれば興味を持ってもらえるか、楽しく感じてもらうか模索しながら、先輩トレーナーの助言も受け、20分間のパフォーマンス中、私の元にいてもらえるよう、日々試行錯誤を重ねていました。初めて最後まで付き合ってくれた時はその喜びを全身でルーナに伝えた事を覚えています。

その後のトレーニングもまた試練の日々

で、2歳を過ぎた頃からは、気分が乗らない時はトレーニング中でもどこかへ行ってしまう、少し頑固な一面が見られるようになりました。私の慎重な性格も裏目に出ていたようで、もう少し課程を早めた方が良いとアドバイスを受ける一方で、何事も欲張らないということもその時に学びました。これまでを振り返ってみると、ルーナに様々な種目を教えながら成長を見てきましたが、私自身も飼育員としても成長させてもらっていたのだと、あらためて気付かされます。

13歳になった今ではパフォーマンス中にどこかへ遊びに行ってしまうことはなくなりましたが、時々サインを無視したり、時には、不満があるのか鳴き声をあげながらジャンプをしたりと、付き合いの浅い新人トレーナーを悩ませています。

海獣展示一課 宮川 裕道  
Hiromichi Miyakawa

## 飼育員のイチオシ

## 「ルーナ」と共に



▲ 生後約5か月



▲ 約1歳半（体長約300cm、体重約460kg）

# Kamogawa Sea World NEWS

鴨川シーワールドニュース  
2024/11/1▶2025/4/30

## 動物友の会月例会

テーマ:調べてみよう!鴨川シーワールドのなかまたち

| 実施日             | タイトル                     | 出席者数 |
|-----------------|--------------------------|------|
| 2024年度 11/23、30 | ファッションリーダーはだれ?           | 48名  |
| 12/14、21        | カメは息つきずる?しない?            | 52名  |
| 1/18、25         | 骨、ほね、ホネ!?                | 54名  |
| 2/15、22         | 鴨川シーワールドの<br>健康管理とトレーニング | 67名  |
| 3/16、23         | 水族館の役割と仕事                | 51名  |

テーマ:鴨川シーワールドのなかまたち

| 実施日            | タイトル             | 出席者数 |
|----------------|------------------|------|
| 2025年度 4/19、26 | クラゲ・サンゴの仲間(刺胞動物) | 25名  |

動物友の会2月例会  
「鴨川シーワールドの  
健康管理とトレーニング」



## イベント

### 館内催事

|          |                                                                            |
|----------|----------------------------------------------------------------------------|
| 11/2     | 計量の日「海の生き物 公開体重測定」                                                         |
| 11/17    | 家族の日特別イベント<br>・家族の日特別レクチャー<br>「海の生き物たちの子育て」(参加者160名)<br>・鴨川警察署「交通安全キャンペーン」 |
| 1/1 ~ 31 | 2023お正月イベント<br>・新春恒例「笑うアシカと初笑いコンテスト」(1/1 ~ 31)                             |

セイウチ  
公開体重測定



### 館内催事

|           |                                                                                                                                                            |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2/11      | 「鴨川市民DAY」開催<br>・鴨川市民入館無料(2,281名)<br>・鴨川市民DAY特別レクチャー「鴨川シーワールドの保護活動」(参加者110名)<br>・絵画展「みんなの鴨川シーワールド」(1/30 ~ 3/7)<br>・ORACAS☆「チアパフォーマンス」<br>・鴨川警察署「交通安全キャンペーン」 |
| 4/1 ~     | 55th「Aniversary Year」                                                                                                                                      |
| 2026/3/31 | ・新公式テーマソング Dream Ami「KIRAKIRA DAYS」                                                                                                                        |

### 講演

|       |                                       |
|-------|---------------------------------------|
| 11/21 | 「水族館の仕事」 開催:長生町立長生中学校 講師:高橋社員(参加者20名) |
|-------|---------------------------------------|

### レクチャー

|         |                                                        |
|---------|--------------------------------------------------------|
| 11/15   | 動物レクチャー<br>「海の生き物ハローワーク」、「鴨川シーワールドの保護活動」他(計3回、参加者354名) |
| 4/19、20 | 日本動物園水族館協会「飼育の日」協賛行事<br>特別レクチャー「クラゲの飼育」開催(計2回、参加者120名) |

### 研究発表

|          |                                                                                       |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 11/22、23 | 第63回日本爬虫両棲類学会 姫路大会<br>「鴨川シーワールドにおける屋外飼育下ニホンイシガメ<br>(Mauremys japonica)の繁殖生態」 発表者:豊島社員 |
| 1/20、21  | 第69回水族館技術者研究会<br>「ヒメツバメウオの繁殖育成」 発表者:引馬社員                                              |
| 2/4、5    | 第50回海獣技術者研究会<br>「カマイルカ新生子における初期哺育への人為介入」 発表者:柴原社員                                     |

### その他

|              |                                     |
|--------------|-------------------------------------|
| 11/2 ~ 10    | 満喫体験、鴨川シーワールドホテル満喫宿泊プラン(計4回、参加者37名) |
| 11/16~12/15  | 大人のナイトプラン(計9回、参加者270名)              |
| 12/21 ~ 1/31 | 特別展示「2025年干支の生き物~海の巳(へび)たち~」        |



特別展示  
「2025年干支の生き物  
~海の巳(へび)たち~」

|             |                                          |
|-------------|------------------------------------------|
| 12/22 ~ 25  | 鴨川シーワールドホテル クリスマスディナー付き宿泊プラン(計4回、参加者92名) |
| 12/25 ~ 1/4 | 第11回ウィンタースクール(計7回、参加者283名)               |



第11回  
ウィンタースクール

|              |                                                         |
|--------------|---------------------------------------------------------|
| 12/28 ~ 1/13 | 冬の水族館探検プラン(計8回、参加者220名)                                 |
| 1/12         | 鴨川市「二十歳の集い」(参加者161名)                                    |
| 1/18 ~ 2/24  | シャチプレミアムプラン、<br>鴨川シーワールドホテル シャチプレミアム宿泊プラン(計12回、参加者447名) |
| 3/1 ~ 4/5    | 水族館探検プラン(計8回、参加者218名)                                   |
| 3/23 ~ 4/3   | ナイトアドベンチャー(計12回、参加者579名)                                |

●本紙の一部または全部を許可なく転載、複製することは著作権法で禁止されています。

表紙写真:繁殖に成功したヒメツバメウオの親魚



鴨川シーワールド

〒296-0041 千葉県鴨川市東町1464-18  
TEL:04-7093-4803 FAX:04-7093-4829

<https://www.kamogawa-seaworld.jp/>  
鴨川シーワールドは、グランビスタ ホテル&リゾートが運営する施設です。